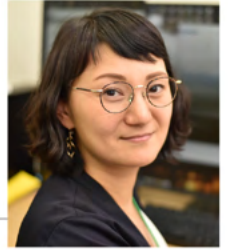


日本対がん協会賞 団体の部 受賞記念

## ケムラン～屋内完全禁煙の飲食店を応援する会～ 日本対がん協会賞団体の部 受賞報告



伊藤 ゆり JACR理事

大阪医科薬科大学(ケムラン～屋内完全禁煙の飲食店を応援する会～)

2015年から屋内完全禁煙の美味しい飲食店を応援する登録サイト「ケムラン」を運営しています。この活動は、飲食店を利用する人や働く人からがんのリスクである受動喫煙を防ぐために重要な対がん活動であるとの考えのもと、賛同して下さった公衆衛生の研究者の有志メンバーで行って来ました。その後、「世界禁煙デー」である2017年5月31日、インターネットに公式サイト「Quemlin(ケムラン)～屋内完全禁煙の美味しい店を紹介するサイト～」(<https://quemlin.com/>)が開設され、改正健康増進法の法案の議論のさなかであったこともあり、多くのメディアからも注目されました。メディアの影響により、このサイトの存在を知った一般市民の皆様から賛同する思いが多く寄せられ、現在では全国に約200人の市民ボランティアが「特派員」として登録し、活動してくださっています。特派員は地元や旅行先で屋内完全禁煙、加熱式・電子たばこNGの飲食店を探して実際に飲食し、「屋内完全禁煙で人に薦めたい美味しい飲食店」を登録しています。現在、登録店舗数は870店にのぼりますが、まだまだ未掲載の地域もあります。ぜひ、JACR会員の皆様も特派員になっていただき、お近くの美味しい屋内完全禁煙の飲食店を登録していただければと思います(特派員登録フォーム:[https://quemlin.com/user\\_regist/](https://quemlin.com/user_regist/))。

### → 特派員登録フォーム

[https://quemlin.com/user\\_regist/](https://quemlin.com/user_regist/)



ケムランは、がんを予防する環境づくりの中で、住民参加型の新しいヘルスプロモーション活動として評価され、日本対がん協会賞・団体の部をいただくことになりました。住んでいるだけで健康になれるまちづくりという構想は多くの自治体で注目されている社会環境アプローチです。住民が地域に対して関心を持ち、禁煙のお店を応援する活動を行うことで、受動喫煙のないまちづくりに関わっていく活動といえます。様々な地域参加の形がありますが、飲食店を利用して登録するという活動は幅広い世代の方に関わりやすい地域参加のスタイルであると考えています。

2020年4月に改正健康増進法や受動喫煙に関する各地の条例が施行され、屋内完全禁煙のお店は増えてきてはいますが、まだ、喫煙目的店として届出をする、または移行措置対象(東京以外では100m未満、東京では従業員がいない、など) ➤

であれば、喫煙可能なお店として継続しているお店もあります。そのようなお店が禁煙に踏み切ることができるような後押しをするための、聞き取り調査や情報発信も行っています(冊子:お店を禁煙にしてよかった<https://quemlin.com/pickup/idea.html>)。

### → 冊子:お店を禁煙にしてよかった

<https://quemlin.com/pickup/idea.html>



また、法施行のタイミングは新型コロナウイルス感染拡大の時期と重なり、飲食店にとっては大変厳しい時期となりました。飲食店における感染症対策は今後重要な課題となっており、ケムランの活動とも合わせて、受動喫煙対策×感染症対策として住民の皆さんとともに安心安全な飲食店を応援するような取り組みを行っていきたいと考えています(飲食店の環境整備に関するヒント集:[https://quemlin.com/pickup/idea\\_20210319.html](https://quemlin.com/pickup/idea_20210319.html))。

### → 飲食店の環境整備に関するヒント集

[https://quemlin.com/pickup/idea\\_20210319.html](https://quemlin.com/pickup/idea_20210319.html)



Quemlin(ケムラン)～屋内完全禁煙の美味しい店を紹介するサイト～